

第一回 Symfony1.4勉強会

Jobeetより短い 速成アプリケーション



2010年2月24日 (株)ファーストロジック中村慎吾(n416)

<http://www.firstlogic.co.jp>

<mailto:info@firstlogic.co.jp>

Tel: 03-5404-4355 Fax: 03-5404-4356

目次

1. ここに立つ経緯について	... 5分
2. 要件定義	... 2分
3. モデル作成	... 2分
4. 詳細設計？	... 2分
5. Symfonyセットアップ	... 5分
6. フォーム生成	... 5分
7. 修正・改良	... 5分
9. 番外編	... 10分
10. 質疑応答	... 10分

1. ここに立つ経緯について



<http://www.firstlogic.co.jp>
<mailto:info@firstlogic.co.jp>
Tel: 03-5404-4355 Fax: 03-5404-4356

あれ？

『どうすんの俺？』

目的？

**日本語のsymfony1.4以降の
情報求む！**

どうする？

**自分が勉強したことを泥臭く伝えて行こ
う！
と思います。
でも・・・**

どとどどうする？

じゃ、勉強用の資料は・・・

- ・本は...2冊発見。**
- ・サイトは...propel、formヘルパー**
- ・本家の・・・Jobeetがある。**

一応最後まで...

**読んでみました。
理解は3割。
疲労7割。**

学習曲線

Jobeetだけだと厳しい？

入門用のチュートリアルが欲しい。

欲しいけど無い。

無いなら作れば良い。

で、作ってみました。

速成メモアプリ

2. 要件定義



<http://www.firstlogic.co.jp>
<mailto:info@firstlogic.co.jp>
Tel: 03-5404-4355 Fax: 03-5404-4356

作る物

『時刻とメモを保存できるアプリ』

『Adminジェネレーター？』

『どんな機能を作ろうか？』

- 記事を書き込める
- 記事を修正できる
- ログインフォームがある
- 管理者サイドで修正できる

3. モデル設計



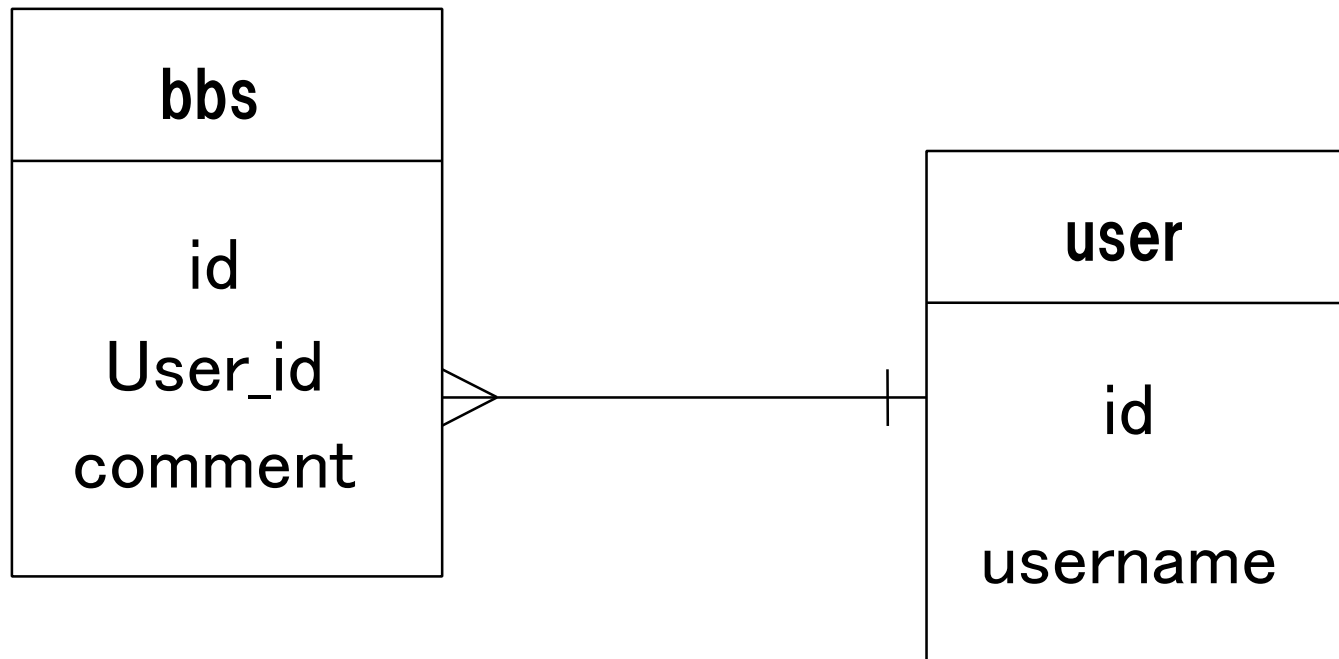
<http://www.firstlogic.co.jp>
<mailto:info@firstlogic.co.jp>
Tel: 03-5404-4355 Fax: 03-5404-4356

『データーはどうしようか？』

Db nameはbbs。その中に2テーブル。

```
create database user_db;
CREATE TABLE `bbs` (
  `id` int(10) unsigned NOT NULL AUTO_INCREMENT,
  `user_id` int(10) unsigned NOT NULL,
  `comment` text NOT NULL,
  `created_at` datetime NOT NULL,
  `updated_at` datetime NOT NULL,
  PRIMARY KEY (`id`),
);
CREATE TABLE `user` (
  `id` int(10) unsigned NOT NULL AUTO_INCREMENT,
  `authname` varchar(255) NOT NULL,
  `username` varchar(255) NOT NULL,
  `password` varchar(255) NOT NULL,
  `isadmin` char(1) NOT NULL DEFAULT '0',
  `created_at` datetime NOT NULL,
  `updated_at` datetime NOT NULL,
  PRIMARY KEY (`id`)
)
```

『偽ER図で書くとこんな感じ』



4. 詳細設計？



<http://www.firstlogic.co.jp>
<mailto:info@firstlogic.co.jp>
Tel: 03-5404-4355 Fax: 03-5404-4356

『どんな表示にしようか？』

- ログイン画面
- 一覧表示
- 投稿画面
- 編集画面
- 管理画面

作業切り分け

『誰がどこを作ろうか？ → 今回は全部自分！』

『プロジェクト > アプリケーション > モジュール』

作業切り分け

『誰がどこを作ろうか？ → 今回は全部自分！』

『プロジェクト > アプリケーション > モジュール』

ちょっと脱線

実環境

<http://サイトURL/モジュール名>

テスト環境

http://サイトURL/アプリ名_dev.php/モジュール名

例)

http://localhost:8082/frontend_dev.php/bbs

5. Symfonyセットアップ



<http://www.firstlogic.co.jp>
<mailto:info@firstlogic.co.jp>
Tel: 03-5404-4355 Fax: 03-5404-4356

『symfony用のディレクトリを作ります』

実演します。

プロジェクト > アプリケーション > モジュール

『プロジェクトをジェネレートします』

実演で作ります！

また、¥data¥bin¥symfonyフォルダから、symfony(.bat)実行ファイルプロジェクトディレクトリ直下にコピーして置きましょう。

この理由は後ほど。

DB接続設定

『DBの接続情報をsymfonyに教えます』

DBの接続設定を
R/config/database.yml
に

```
all:
  doctrine:
    class: sfDoctrineDatabase
    param:
      dsn:    mysql:host=localhost;dbname=bbs
      username: root
      password:
```

と記載します。**実演します。**

スキーマ作成

『テーブルにアクセスする決め事ファイルを作ります』

DBのテーブル詳細設定を覚えさせます。この覚えさせるファイルの事をスキーマーと言います。

実演します。

モデル・フォームの作成

『ORマッパーがDBにアクセスするクラス、及びフォーム
を作ります』

『doctrineモデル・フォーム・フィルタの作成をします。』

実演します。

アプリケーション作成

プロジェクト > **アプリケーション** > モジュール

『アプリケーションを作成します』

実演で作ります

フロントエンドモジュールの作成

プロジェクト > アプリケーション > **モジュール**

『**モジュールを作成します**』

まずはフロントエンド。

実演します。

バックエンドモジュールの作成

プロジェクト > アプリケーション > **モジュール**

続いてバックエンド

『サクッとバックエンドを作成』

実演します。

基本的にはこれでおしまい

『あとはApacheで場所を指定して』

```
Listen 8081
```

```
<VirtualHost 0.0.0.0:8081>
```

```
DocumentRoot "C:¥dev¥R¥web"
```

```
DirectoryIndex index.php
```

```
<Directory "C:¥dev¥R¥web">
```

```
AllowOverride All
```

```
Allow from All
```

```
</Directory>
```

```
Alias /sf "C:¥dev¥R¥lib¥vendor¥symfony¥data¥web¥sf"
```

```
<Directory "C:¥dev¥R¥lib¥vendor¥symfony¥data¥web¥sf">
```

```
AllowOverride All
```

```
Allow from All
```

```
</Directory>
```

```
</VirtualHost>
```

一次完成。

『・・・出来上がった物がコレです。』

少しだけ修正を！

『日付は入力せずに新しい投稿をしたい(将来的には
今日の日付が自動で入ってほしい)』

もう少しだけ修正を！

『日付は自動入力が良い！』